

教 科	工 業	科 目	デザイン実践
履修条件 対象生徒	選択履修 デザイン科 3 学年		
学習目標	・陶磁器、木材、漆などの特色や地域の特性と伝統について理解する。 ・生活の中で生まれたクラフト、地域で発展したクラフト、伝統的なクラフトなどの技法、手作りの意義、地域性の味わい等について理解し、工芸品のデザイン、クラフトなどにおいて、活用できるようにする。		
学習方法	〔授業〕 デザイン実践の教科書と参考資料（プレゼンテーション、で提示）を用いて、授業を展開する。单元ごとにビデオで学習を深め、レポートを作成する。 〔家庭学習〕 ・授業で学習した内容を復習に重点を置いた努力をすること。 ・伝統産業会館等の工芸館で実際に作品を見る。		
学習計画 と ね ら い	< 1 学期末考査まで > 第 5 節 クラフトデザイン 第 1 伝統工芸と現代		○伝統工芸品の歴史的流れと現代
	第 5 陶磁器 1 種類		○陶磁器の基礎知識
	2 成形		○手びねり、型おこし、轆轤、鋳込みの方法
	3 加飾		○素焼前の加工、素焼後の加工、本焼後の加工法
	4 施釉		○釉薬の種類、釉薬方法
	5 焼成		○素焼と本焼、窯の種類、焼成方法
	< 2 学期末考査まで >		
	第 3 木材 1 組織と性質		○木材の構造と名称、変形
	2 種類		○針葉樹と広葉樹の種類と特徴
	3 道具		○道具・工具の名称と使用方法
4 前処理		○木材の乾燥法（自然乾燥・人工乾燥）、木取り	
	< 学年末考査まで > 5 成形技法		○指物・彫物・刳物・挽物の種類とその用材、技法
	6 塗装		○塗装材の種類と使用目的
	その他の素材		
	1 種類		○制作資材の基礎知識
	2 成分		○原料と着色剤
	3 成形		○製造の工程、成形方法
	4 加工法		○様々な加工方法
	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に向かう態度
	工業におけるデザインについて社会や生活との関係を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	デザインにより解決できる課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき構想を立て解決する力を身に付けている。	デザインによる豊かで快適な生活空間を構築する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
	評価方法		
○定期考査、学習態度、出席の状況を総合的に判断して評価する。 ○授業では、発表や話し合いなどの言語活動、レポート、演習への取組など主体的な活動を重視する。			